

令和4年度 事務事業評価（内部評価）シート （令和3年度実施事業）

基本データ	事務事業名		担当部署									
	シルバーピア事業		部	都市計画	課長	岩波 聡						
			課	都市計画	担当	千葉 直樹						
			係	住宅	電話	内線2264						
	第五次総合基本計画における位置付け					実施根拠<法令、要綱等>						
	政策項目	05 基盤を築く あきしま（快適な都市空間の整備）				昭島市営住宅条例						
大項目	02 安心とやすらぎを築く（市街地の整備）											
中項目	03 住宅				法令による事業実施義務							
個別計画（年度）					<input type="checkbox"/> 義務 <input type="checkbox"/> 市上乗せあり							
予算科目コード	款	03	項	01	目	04	細目	009	細々目	01	<input checked="" type="checkbox"/> 任意 <input type="checkbox"/> 都補助等あり	
事務事業概要	目的											
	<対象は誰、何か>						<対象をどの程度の状態にすることを意図しているか>					
	シルバーピア住宅入居者（昭島市ひとり暮らし高齢者専用住宅：緑町ことぶき住宅10戸（令和4年3月時点）都営の高齢者専用住宅：7棟139戸）						住宅に困窮している高齢者に住まいを提供し、生活の安定と福祉の増進を図る。					
	実施内容						実績・成果					
	○昭島市ひとり暮らし高齢者専用住宅（緑町ことぶき住宅）の借り上げ ○緑町ことぶき住宅の緊急通報システム機器及び消防設備保守点検委託並びに施設の修繕 ○24時間機械警備委託 ○都営シルバーピア住宅に併設する団らん室及び生活相談室の備品更新並びに付帯設備の修繕						シルバーピア住宅は、緊急通報システム、24時間機械警備委託先の警備会社、巡回ヘルパーによって常時安否確認が行われ入居者の安心感を得ている。					
	コスト		(単位)	2決算	3当初予算	3決算	4当初予算	備考<特財名称等>				
	直接事業費		千円	10,386	10,330	10,255	7,870	その他特定財源 ・緑町ことぶき住宅使用料				
	財源内訳	国庫支出金	千円									
		都支出金	千円									
		地方債	千円									
その他特定財源		千円	3,297	3,711	3,017	2,908						
一般職員人件費	千円	1,672	1,644	1,644	1,636							
人工数	人	0.20	0.20	0.20	0.20							
再任用職員人件費	千円	0	0	0	0							
人工数	人	0.00	0.00	0.00	0.00							
再任用代替嘱託職員人件費	千円	996	1,050	1,050	350							
人工数	人	0.30	0.30	0.30	0.10							
総事業費	千円	13,054	13,024	12,949	9,856							
事務事業評価	個別評価 ※ 別紙「事務事業評価基準」による											
	①優先度（どの程度優先されるべきか）				3		②妥当性（実施方法は妥当であるか）				4	
	判断理由 住宅に困窮する単身高齢者等への住宅確保は、心身ともに不安を抱える高齢者にとっては必要である。				判断理由 家族等の支えがなく身体に不安を抱える高齢者にとって、機械警備、生活協力員やヘルパーによって常時安否確認が行われるシルバーピア住宅は必要である。緑町ことぶき住宅について、築年数等を踏まえ、契約方法を従来の1棟借りから現入居者が退去されるまでの間の部屋借りに変更した。							
	③達成度（成果はどの程度あるか）				4		④効率性（効率的に実施できたか）				3	
	判断理由 各シルバーピア住宅は、入居者が転出等しない限り満室の状態が続いている。緊急通報システムや機械警備委託の充実、その他の消防設備や保守点検などにより、入居者の安全・安心が確保されている。				判断理由 緑町ことぶき住宅借上げ料については、2年毎に昭島市財産価格審査会に諮り適正額となるよう見直しを行っている。							
課題と今後の方向性	新しい生活様式の影響	e	該当事務なし	テレワークやローテーション勤務	e	該当事務なし	AI・RPA導入の可能性	e	該当事務なし			
	現状及び中長期的な課題				今後の方向性							
	都営シルバーピアに併設している団らん室及び生活相談室の付帯設備の経年劣化による修繕が年々増加傾向にある。 約30年前に設置の緑町ことぶき住宅の緊急通報システムが故障した場合は、部品がなく修繕ができないため、代替えとして介護福祉課が行っている在宅高齢者救急通報システム（ペンダント型）へ切り替える。				(前年度 C) → E 現状を維持 令和5年度予算編成における具体的な取組 シルバーピア住宅に併設している、団らん室及び生活相談室の付帯設備の経年劣化による修繕費等を確保する。							